



大会を盛り上げるゲストの三津家さんともう中学生さん




第10回記念 SHINSHU AZUMINO HALF-MARATHON

信州安曇野 ハーフマラソン

フォトレポート

第10回記念信州安曇野ハーフマラソン(市、市商工会など実行委員会主催・信濃毎日新聞社共催)が6月2日、豊科南部総合公園・ANCアリーナを発着点に行われました。当日は大会史上初めての雨。一時的に雨が上がり北アルプスも顔をのぞかせるなか、県内外から参加した5745人(ハーフの部5083人・ファミリーの部662人)のランナーが8時30分の号砲と共に一斉にスタートしました。また、当日は700人を超えるボランティアが大会を支え、雨に負けない笑顔と安曇野流おもてなしで迎える姿が見られました。

雨に負けない笑顔で節目の大会を支える地域の力！

安曇野太鼓保存会

久保村陽子さん (52)

第1回大会から毎年参加しています。雨でしたが笑顔で手を振ってくれるランナーを見て、自分たちの方が元気をもらえました。

給水ボランティア

左:鎌田瑞貴さん (14)

右:伊藤明理さん (14)

スムーズにランナーに水を渡すことができてよかったです。「ありがとう」と言ってもらえて、パワーをもらえました。



ハーフの部 10回連続出場

石原さくらさん
(41・東京都)

本格的にランニングを始めたのは、この大会がきっかけです。あいにくの天気でしたが、涼しくて走りやすかったです。



ファミリーランの部

有近友佑さん (34)
有近弥紘さん (8)(豊科)

鬼ごっこが好きな息子と初参加。息子の方が速く、付いていくのが大変でした。ランナー同士で励まし合いながら走れました。



一斉にスタートするランナー



雨の中のフィニッシュ！



有森さんとハイタッチ

ランナーに大人気！手作りおにぎりに迫る！

信州安曇野ハーフマラソンの人気の1つとなっているフィニッシュ後に振る舞われるおにぎりに。JA あづみ女性部と豊科女性研修センター運営協議会・長野県農村マイスターの皆さんが早朝から6300個を手作りしています。10回記念大会でも心のこもったおにぎりが、雨で冷えたランナーの心と胃袋を満たしていました。JA あづみ女性部の矢口美智子さん(堀金)と上原一美さん(穂高)は「遠方から参加したランナーにも、毎年おにぎりを楽しみにしていると喜んでもらえたので早朝からでもやりがいがある」。豊科女性研修センター運営協議会の松尾園子さん(豊科)は「たくさん握るけど配るのは一人1個。だから愛情を込めて握っている」と思いを話しました。



途切れのない沿道の声援



安心安全な運営を担う医療スタッフ